

2004年9月26日

**南郷荘運営委員会
組織施設担当**

第30回南郷荘運営委員会議 組織施設討議資料

1. 担当の本業形態変更とメンテナンス

- ・かじか借用問題では不手際。(陳謝する。)
- ・2003年8月メンテ以降の評価と今年春以降の挫折、そして8月以降。
- ・昨年夏以降の一定の前進。
- ・本業の不振はすでに限界。それがメンテ活動をスポイル。
- ・転職の判断は正しかった。
- ・クレネス資産は今後南郷荘で活用(存置物有益化と関連企業としての活用)

2. 建築対策への着手

- ・青写真を示すもまずは費用の算出に着手
- ・その前にまず、運営委員自身が内容を検討できる知識を身につける
- ・10月をメド、専門家による建物診断を企画したい。(具体的日程を話し合う)

3. 今後のメンテナンス

- ・さらなる能率アップ 連続日程化への努力、他の運営委員との協力、拡大運営委員。
- ・後継者対策。子供たちも大きくなって来る。
- ・今後中身が濃くなって来る。出費の承認のルール化、メーリングリストでの採決など。
- ・車両運行費の支給を要求。将来は日当支給も、当面交通費は予算を。
- ・中村則明氏、木工事への協力姿勢、木部の改善要求などをひろい出す。

4. 営業対策

- ・今秋より、同類他施設のサービス内容・料金等の調査。
- ・利用者は同音異口に清潔さに不満、最も改善が急がれる。(ごみは片づけるので大掃除。)
- ・ふとん対策、湿気の多い場所だけに保管対策。除湿押し入れなど検討。
- ・有料シーツサービスを検討しては。